昭和51年12月7日
広報あじす 毎月5日
お知らせ版 毎月20日 発行

山口県吉敷郡阿知須町
発行 阿知須町役場
電話4111番㊥・〒754—12

印刷 阿知須砂郷よしの印刷

広報あじす

№.301

町の住民登録人口
（51年11月30日現在）前月比
世帯 2,130世帯 0
人口 8.232人 −2
（男3.889人 女4.343人）
（国勢調査 昭和50年10月1日
世帯 2.113世帯
人口 8.137人
男3.771人 女4.366人

バイパス十五日に開通

役場—善和の県道は全面追禁

四十八年当初から進められてきた国道一九〇号線の阿知須バイパス新設工事がこのほど完成し、十二月十五日から通行できるようになりました。

本町の岩倉から東岐波の前田の国道を結ぶ約四・二キロ㍍のコース。この間、踏切二カ所を避けることができ、これまで平均一日一万一千台の交通量で混雑していた駅前交差点付近はバイパス開通でだいぶ緩和され、本町を通過する車も短い距離を走ることができるわけです。

完成した190号線阿知須バイパス（中学校前交差点）

これは四十七年秋から用地買収に着手して以来、第一期工事として岩倉から中学校前の交差点（県道とバイパス交差点）まで施工、ついで東岐波まで施工しこの程と完了したものです。

総事業費十四億六千九百万円、全幅員一三・五㍍の二車線、歩道幅員四㍍（両側二㍍）。車道と歩道がブロックで区別され安全面の配慮がされています。

バイパス開通と同時に本町の幹線道路も一九〇号線からバイパスに移り、交通量もこちらがふえると予測されるため中学校前の県道との交差点には信号機が設けられています。

阿知須バイパスの開通にさきがけて、県道阿知須・善和線（通称・温泉道路・）が県公安委員会から全面追越・禁止に指定されました。

つまり町役場前から温泉前を通り善和までの約七キロ㍍にわたる全線が追越し禁止になったわけです。従来この県道は道路に比して交通量が少なく、とかくスピードを出しがちとなり、今年も三名の交通事故死者が出るなど事故が多いため、この処置がとられたものです。

また、七キロ㍍のうちゴルフ場万年西コース入口付近から井関地区の消防機庫の間約三キロ㍍は速度四十キロ制限区域になっていますのでお互いに安全運転につとめましょう。

（とじておくと便利です）

火を使う人ならできる火の始末

寒さの到来とともに、おそろしい火災のシーズンです。

冬は気象条件が変化しやすく、空気が乾燥し、ストーブなどの暖房器具を使用する機会がふえ、火災の発生しやすい条件がかさなっています。

みんなの貴重な生命や財産を火災から守るため、ひとりひとりが火に注意し防火意識の徹底に努めましょう。

暖房の熱源は従来の木炭から石油、電気、プロパンガスなど多様化し、それに伴って使用方法も異なり、暖房器具も数多く、複雑化しています。

日頃なにげなく使っている暖房器具を年一度点検し、破損箇所、使用方法などについて確めてみましょう。

また、寝てたばこをすったり、火のついたたばこを投げ捨てることは絶対にやめましょう。

火災の出火原因をみると「たばこ」の火によるものがトップです。愛煙家にとって、たばこは身近にあり、気分をいやすにはよいかもしれませんが、たばこの火の温度が七百度もあるといわれ、うっかり捨てるとたいへんなことになります。

たばこは完全に火を消してから所定の場所へすてましょう。喫煙のエチケットを守れば、たばこからの火災は減るのではないでしょうか。

就寝前にはガスの元栓確認、電源の切断、灰皿の点検など今一度確認いたしましょう。

恵まれない人にあたたかい正月を

歳末助け合い運動を展開中

恵まれない人にあたたかお正月を……ということで、毎年歳末助け合い運動を展開していますが本町社会福祉協議会十二月一カ月間、婦人会を通じて、助け合い募金の協力をお願いしています。

目標額三十万円。

みなさんからのあたたかい贈りものは町内の生活保護家庭や母子家庭・福祉施設入所者などに贈られます。

現在の本町の生活保護世帯は十一世帯。町外にある社会福祉施設入所者は十七名。

昨年は総額二十八万九千四百円が寄せられました。

年末年始の犯罪を防ぐ

年末年始はいろいろな犯罪が起きやすいときです。雑踏にまぎれての盗犯、暴力行為、飲酒による交通事故など毎年のように多発しています。そこで、警察では十二月一日から一月十日までを「年末年始警戒取締り期間」として、特別警戒と指導に当ります。

小郡署の話では、阿知須町はこれと交通事故の死亡事故（小郡署管内十人のうち五人が阿知須町内）が多いとのことです。

年末年始の犯罪としては①盗難②暴力、押売り、迷惑行為③飲酒運転による事故などがあげられます。

懐中ものに気をつけ、家を出るときは戸締りをやくしましょう。

交通事故を起さないためには飲酒運転は絶対に避ける。心を落ち着けてゆっくり走ること、万一に備えて座席ベルトを着けることは重大事故を防ぐことにつながります。

自分の財産や生命を守るためにいま一度、自分の心にカギをかけましょう。

ついては特に注意してほしいと呼びかけています。

年末年始の犯罪としては①盗難やスリ、あき巣ねらいによるもの②暴力、押売り、迷惑行為③飲酒運転による事故などがあげられます。

懐中ものに気をつけ、家を出るときは戸締りをやくしましょう。

交通事故を起さないためには飲酒運転は絶対に避ける。心を落ち着けてゆっくり走ること、万一に備えて座席ベルトを着けることは重大事故を防ぐことにつながります。

自分の財産や生命を守るためにいま一度、自分の心にカギをかけましょう。

□□□□ 初期消火が大事

「火事だ！一一〇番」

どんな火災においても、最初は小さな火であって、時間を失わなければ初期消火が可能です。

この初期消火には消火器が最も有効です。

家の広さ、構造に適したものを準備し、家族全員が使用できるように取扱いを知っておきましょう。

も、火事と知ったらすぐ局線有線電話とも一一九番（役場）へダイヤルしましょう。

町役場へ直結されていますので非常の内容・場所・名前などはっきり、わかりやすく連絡してください。

人によっては、あわてて、場所や状態など話さずに電話を切られることもあります。要領のよい通報が消防団員の出動を早く、しかも適切な消火につながります。

衆院選の結果

第三十四回衆議院総選挙は十二月五日投票が行われました。本町の投票状況は

当日有権者 五、九一三人
投票者 数 五、〇八一
投票率 八五・九五％
有効投票数 五、〇一九票
無効投票数 六二

本町での得票数は次のとおり（届出順・上の○印は当選者）

○田中 はじめ 社現 八四票
○宮井やすよし 公元 六九票
ますとみ圭一 共新 一七〇
○岸 信介 自現 五六票
玉木 のぼる 新 一九一
重宗 昌幸 自新 一〇四
○高村 坂彦 自元 一、一四六
小沢 太郎 自現 七三五
○受田 新吉 民現 六四
末谷 康夫 無新 六

お知らせ

互礼会の申込み

今月二十日まで

新年のあいさつを交し合うための・新年互礼会・を次のとおり催します。出席希望者はお申込ください

日時 一月一日 午前十一時
場所 町役場議事堂
会費 一人 四百円
申込 十二月二十日（月）までに総務課へ。名簿作成の都合上、厳守願います。

県外の人もどうぞ

来春の成人式

新春一月十五日に昭和三十二年中に生まれた人を対象に成人式が町役場で行われます。

該当者には案内しますが、現在大学生、あるいは県外就職等で町外に住民登録しているが、阿知須町の成人式に出席したいと思われる方は十二月十五日までに町教育委員会（電話四一二三番）へご連絡ください。その人は出席できるようにお取計います。

なお今回の成人該当者は昭和三十二年一月一日から十二月三十一日までに生まれた人です。

物とお金を大切に

歳末特別貯蓄運動

十二月は「歳末特別貯蓄運動」の月間です。県や県貯蓄推進委員会は、この運動を全県的に展開しています。

特に「生活の安定と充実」ということで貯える心を育てようと呼びかけています。同時に家計簿をつけて合理的な家計運営と生活設計をするよう指導しています。

なお提出された調査票は統計法によって秘密は厳守され、統計以外、たとえば税金徴収の基礎資料等、申告者に不利になるようなことは一切ありませんから正しく記入をお願いします。

善意はここに

（社会福祉協議会へ）

◇香典返＞三万円＝山口里明さ

◇一般寄付▽一万三百一十円＝青年団（藤沢誠・団長）は町文化祭での募金を全額。▽一万円＝北山利幸さん（砂三）は青年学級講師の謝礼を

（町へ）

▽喫茶店・オルフェ・（浜・国重久子さん経営）は、十一月十一日の開店八周年記念にお客から受けた売上げ代金や浄財一万一千百六十円を町内三校の特殊学級に指定寄付。

▽吉南信用金庫阿知須支店（河村義人・支店長）は交通安全協会阿知須支部へ横断旗百本を

▽一万円＝村田政雄さん（組南）は母サトエさんの年忌（藤沢誠・団長）は町文化祭での募金を全額。▽一万円＝北山三・東出身）

（その他）

▽山口銀行阿知須支店（原口永治・支店長）職員は新庁舎開店記念事業の一つとして町保育園、阿知須幼稚園に遊具パネルブロック四組二万二千円相当を

▽三万円＝渡辺高士さん（広島県府中市中須町九七四中之荘六号・赤塚出身）今井梅一さん（鎌倉市佐助一丁目十三の十三・東出身）

たばこは○○町内で

ぼくの学校 わたしの学校

12月のメモ

8日 婦人学級（前9時・中学校家庭科室）
14日 心配ごと相談（前10時）
育児相談（後1時半）
16日 栄養教室（前10時）
21日 幼児学級（後1時）
幼児相談（後1時）
〔会場の記入のないのは役場〕

12月の納税

- 固定資産税
- 国民健康保険税

6日 給食費集金日
高学年体重測定
中学年体重測定
7日 PTA会費集金日
10日 おかあさんの勉強室（一年）
14日 貯金日
15日 防災避難訓練
17日 貯金日、簡易保険納入日

（阿知須小）

6日 郡算数研究会
7日 諸会費集金日
9日 体重測定

（阿知須中）

8日 期末試験
9日
10日

（井関小）

二十八日ご用納め

役場は四日にご用始め

年末年始に当って役場は十二月二十八日午前中で今年の事務を終り一月三日まで休ませていただきます。御用始めは一月四日です。

しかし急用の場合は宿日直員がおりますのでお申出ください。

電話四一一一 有線二四一番

事前に町役場へ

町では瓦、レンガ、石等の不燃物類の捨て場を沖の原地区に定めておりますが、心ない人が普通のゴミや古い木材など無雑作に捨てたり、出入口のところに置いたりされます。このため町では処理に困っています。

『自分さえよければ』という考えを捨て、後に利用する人のことも考えて、きちんと捨てるよう心掛けてください。特に次のようなことは必ず留意願います。

▽捨てる時は必ず事前に町役場厚生課に連絡のこと

▽家屋解体の古材は自分の家で焼却処分してください

▽産業廃棄物の持込みは禁止。それぞれの事業所の責任において処分を。

一人一人が心掛ければそれだけきれいになるという気持で利用しましょう。

十二月末に工業統計調査

通商産業省では十二月三十一日現在で工業統計調査を行ないます

この調査は統計法に基づく指定統計調査として、毎年わが国の製造業をもれなく調査し、その実態をつかみ、今後の行政や企業の経営指針、市場調査資料などを方面に広く利用されます。

調査は任命された者が調査票をもって訪れ、記入方をお願いしてまわります。

ガレキ類の処理は

ガレキ類は見苦しく、危険なもの。十万円、詳しいことは商工会にお問い合わせください。

▽担保 無担保、無保証人
▽利率 年七・〇％

無担保・無保証人

小企業経営改善資金

県商工会連合会では従業員が五人以下（商業、サービス業は二人以下）の小企業者で、商工会の推薦を受けたものに対し次のとおり融資します。

▽使途 運転および設備資金
▽融資期間 二年以内、設備については三年以内（うち据置六カ月）
▽融資限度 二百万円、運転は百五十万円

義さん（砂二）は父龍助さん。福岡義人さん（浜長）は父愛二さんの

あのできごと、思い出

ことしのおもな記録をふりかえる

今年もあとわずかで新しい年を迎えようとしています。国内、国外も話題の多い年でしたが、町内でもまいろいろなことがありました。

そこで本町の五十一年の足跡をふりかえってみましょう。

1月
1日　新年互礼会
5日　出初式
6日　子ども会親子たこ上げ大会
10日　中尾正一氏再び教育長に
15日　百二十六人を招待し成人式
26日　干拓地の草焼き

2月
8日　囲碁大会で池田通明さん（砂二）が本町本因坊に
22日　第四回町内柔剣道大会で柔道は東条、剣道は小古郷が優勝

3月
7日　第一回町民オリエンテーリング大会に約六十名が参加
11日　町議会で五十一年度予算五億五千七百万円を可決
15日　阿中校業式で百九人巣立つ
21日　第二十六回町内駅伝大会で砂郷チーム三連勝

4月
1日　井関小学校山崎克己校長の後任に平豊重校長赴任
25日　第二十回町民運動会約一千人参加、寺浜チームが総合優勝

5月
1日　商業統計調査開始、町内の商店は百五十三店、総売上げ三十六億八千万円
16日　十七夜祭
25日　戦没者慰霊祭（雨で本殿で）
30日　町民総出の河川清掃
〃　「誓いの森」に三組の新婚が植樹

6月
6日　近郷野球大会
〃　近郷柔剣道大会

7月
1日　果樹基本統計調査
10日　十七夜花火大会（雨で延期になったため）
11日　第二十六回町内野球大会で岩倉が優勝
24日　社会を明るくする運動推進大会約百名出席
31日　第四回町内オープンバレーボール大会。男子東条、女子町役場チームが優勝

8月
3日　第十八回子ども会ソフトボール大会、小古郷子ども会が優勝
4日　海区漁業調整委員選挙
8日　第四回自転車の正しい乗り方大会で前山チームが一連勝、個人の古谷栄さん（浜表）は満点得
14日　郡社会教育振興大会が阿知須小学校で
16日　役場広場で盆おどり大会
22日　県知事選挙で平井知事誕生

9月
13日　台風十七号、稲の被害でる
〃　飯田宏史助役就任
15日　五百八十人を招き敬老会
26日　第二十五回町内球技オープンバレーボール大会、総合で飛沫三連勝

10月
米飯給食で研究指定校に
10日　町民オリエンテーリング大会親子づれなど約七十名参加
16日　町の交通安全非常事態宣言大会。ことしの本町の交通事故四人を重くみて
18日　工藤靖夫教育長就任
22日　大がかりな林野火災総合訓練を干拓で行う。消防関係者ら県下から三百人参加
26日　岡山で合同慰霊祭

11月
広報紙三百号記念で十二名の保存者に記念品を贈呈
2日　老人大学祭
7日　町民文化祭一万人の集いが役場で。二百五十人が熱演
11日　第四回町内オープンバレーボール大会。男子東条、女子町役場チームが優勝

12月
8日　第四回町内柔剣道大会で柔道は東条、剣道は小古郷が優勝
9日　第一回町民運動会約一千人参加、寺浜チームが総合優勝
11日　第二十回町民運動会約一千人参加、寺浜チームが総合優勝
25日　第二十回町民運動会約一千人参加、寺浜チームが総合優勝
26日　干拓地の草焼き

町史編さん室だより⑨

阿知須浦と廻船㊀

前回は廻船数について述べたが阿知須浦の廻船は、嘉川村干見折から、台道旦浦から萩藩入米や大阪運送米の廻漕をうけおっていた。

当時、山口・小郡・美祢宰判の年貢米は嘉川に集められ、萩藩元に、さらには大阪に送られて売買された。文久三年、嘉川村及び台道村から萩・大阪に運ばれた廻米とそれを扱った船頭は下の表のとおりであった。

表からあきらかなように、運送米は阿知須浦の廻船が主に取り扱い、大阪へは大型廻船が、萩へは小型廻船を含めて廻船業を営んでいたことが推察される。

一方、「丸尾崎港繋船記録」の中に豊前米を積んで入港した阿知須廻船の記事もあり、幕末期の記録ではあるが、阿知須浦廻船業の繁栄の一端をうかがうことができる。

文久3年　嘉川村大阪廻米取扱い
「内海産業と水運の史的研究」

月日	石数	俵にして	船頭
10.晦	153石	450俵	阿知須　繁右衛門
10.晦	102	300	岐波浦　岩五郎船
11.19	85	250	〃　平次郎船
12.15	224.4	660	阿知須　善五郎船
12.16	210.8	620	〃　富五郎船
12.16	156.4	460	〃　松三郎船
12.16	197.2	580	〃　嘉右衛門
文久4.2.4	59.92	140	御手船千早丸

文久3年道村・萩・大阪運送米取扱い

月日	石・俵数		
10.17	219俵	大阪本運送米として	手船大惠丸直吉え払渡
11.23	399	〃	阿知須浦船頭兼二郎へ
12.15	70	〃	〃　嘉衛門
10.17	32	萩土貢御蔵納鮮米	〃弥三右衛門
11.14	120	萩土貢御蔵納米	〃　悦蔵船

七社大命神再び浜表へ

地区を開いた神さま

浜表公民館そばに新しく神社ができました。（写真は11月7日浜表公民館前に建立された七社大命神）

完成、十一日七日に正遷宮式が行われました。

浜表地区には古くから「七社大命神」というお社がありましたが明治四十一年に北方八幡宮そばの浜崎神社に合祀されていました。しかし、これは同地区を開いた神さまとして地区民にあがめられているとのことから、再び地元にお迎えしようとの声が起りこのたびそれが実現したものです。

社は総桧づくりで、工費二百七十万円。地元の人たちの寄付金でできあったもので、この日は式やもちまきなど地区をあげて祝いました。

正遷宮式というのは神さまを元のお宮に移す式。祀り神は「国常立之命」ほかくにとこたちのみことほか七人。土地を守り、豊穣をたすけるとの意味。

駅通りに新店舗

山口銀行阿知須支店

山口銀行阿知須支店（西条）は駅通りに新しい店舗を新築中でしたが、このほど完成、十二月六日から正式に業務を開始しました。

新店舗の面積は約四百四十平方メートルで鉄骨一部鉄筋コンクリート二階建。事務所はオンラインシステムによる事務能率を折りこんだ構造設計や冷暖房、自家発電装置、防犯防火施設など完備されています。

玄関は駅通りに向いて、駐車場も広くとってあり、駐車場のない金融機関の悩みを解消しました。

なお、従来の店舗跡地は町が購入、駐車場にする予定です。

（写真は新築された山口銀行阿知須支店）

蔵冨士さんを表彰

吉敷郡教育研究会

十一月十四日に阿知須小学校で社会教育の功労者として吉敷郡教育研究会長から表彰されたものです。

教育振興に多大な功績があったと会長在職中、婦人教育向上と社会

吉敷郡社会教育振興大会が開かれましたが、席上、社会教育功労者として、本町から元井関婦人会長の蔵冨士八重子さん（井関）が表彰されました。

蔵冨士さんは四年間の井関婦人会長在職中、婦人教育向上と社会教育振興に多大な功績があったとして吉敷郡教育研究会長から表彰されたものです。

町消防副団長に石川隆輔氏

町消防団は副団長飯田宏史氏の退任に伴い次のとおり異動を発令（カッコは旧）

▽副団長　石川隆輔（第一分団長）
▽第一分団長　河村　豊（副団長）
▽同副　岡田歳一（同部長）
▽部長　岩本利夫（同団員）

これにより本町の消防関係の幹部級は次のような顔ぶれとなりました。

消防　長　中尾岩雄（町長）
団　長　中田光人（西条）
副団長　石川隆輔（〃）
一分団長　河村　豊（東浜須）
二分団長　古川哲也（浜表）
三分団長　田辺　庄（岩西）

志熊教頭が着任

阿知須中学校

県教育委員会は十一月十五日付で教員異動を行い、阿知須中学校には志熊教頭（四七）が着任しました。（カッコ内は旧任）

秋芳南中学校長　斉藤真文（阿知須中教頭）
阿知須中教頭志熊一郎（県教育庁保健体育課指導主事）

町の異動

町は十一月はじめ次のとおり人事異動を発令。

住民課国保年金係（厚生課福祉衛生係）
教育委員会書記・阿知須中学校勤務（住民課国保年金係）田中幸子
退職
阿知須中学校）飯田富子（教育委員会書記・阿

役場の窓

◆『十二月（師走）』何かしら落ち着かない気分にさせられます。一年の終わりとともに仕事や生活にも一つの区切りをつけようと思う一方で、大晦日までにもう何日もないというあせりを感じるのでしょうか？……しかし毎年のことでもあり、計画的に余裕をもって家事を片付けるため、大晦日まで総合スケジュール表を作成してみましょう。

◆・ことしの町の事業を顧ってみると、国道バイパスの完成をはじめ、駅通り線改良のための農協建物の移転、有料道路インターチェンジ付近の県道拡良、それに農村モデル事業としての沖の原や引田中義弘　節子（富田）東　宇部市
宮原長恵　和枝（山田）宇部市
砂三
宇部市
宇部市西岐波
中屋信行　理恵子（緒方）飛石
西条
酒迎一道　好子（松井）宇部市
岡村満男　長男　聡明　11.1　岩江
守田宏和　美祢市
楊　亮　長女　周　11.9　砂三　まつみ（柳井）前山
木村克己　長男　修悟　10.30　赤迫
須原義徳　二男　秀治　10.24　中村
引藤義平　二女　真里　11.3　飛石
上野勝幸　二男　明　11.16　細南　吉川　巧
龍屋義正　長男　弘幸　11.15　前山　久江（藤本）宇部市
鷹　田信　二男　崇　11.19　西条
鷹　田信　三男　智　11.19　西条
中本博秋　長女亜矢子　11.22　岩前
網重俊夫　きよみ（岩本）広島県呉市
石関　肇　文子（松代）西条　徳島県石井町
細広敏夫　惠比須
喜久枝（藤本）宇部市
安永達徳　小東
文子（井町）萩市
河村　享　山口市佐山
七美子（砂村）飛石
田元寿美男　山口市
光枝（伊藤）旦東
浜　正司ウメノ
山畑に豆もぐ手もと暮れてゆき帰り急ぐがに狐啼き出づ　砂三　藤水ミツノ
舞台にてのぞきのまねをわがすれば見てゐる人等大笑ひす　北祝　原田　双恵
亡き母とガラス破片の処置につきいさかひてあり朝の夢にて　飛石　桜井　文子
黄葉を保つ一木のしづまりに冬に入る雨降り注ぐなり　砂三　渡辺　宮子
差し入れし帯の中の手に伝ひ味噌の麹は温もりをもつ　細南　細谷ミツコ
花蘇は立ちしままにて美わしく仏をおがみぬ嫁きゆくいま　砂一　松代　二郎
選挙準備する若き等と掲示板立て急ぐなりこと駅の前　浜　石田サダ子
父逝きてひらき店を閉山と共にたたみし母も老いたり　飛石　砂村ヤス子
四十年前思ひ出でつつたすね来し谷間の石は静もりてあり　河内　磯中　忠一
電線に集う燕の姿あり旅立つ時季か古舌鳥の声明く

慶弔録

出生（おすこやかに）

父	続柄	子の名	月日	部落
須原義徳	二男	秀治	10.24	中村
引藤義平	二女	真里	11.3	飛石
木村克己	長男	修悟	10.30	赤迫
岡村満男	長男	聡明	11.1	岩江
楊　亮	長女	周	11.9	砂三
上野勝幸	二男	明	11.16	細南
龍屋義正	長男	弘幸	11.15	前山
鷹　田信	二男	崇	11.19	西条
鷹　田信	三男	智	11.19	西条
中本博秋	長女亜矢子		11.22	岩前
網重俊夫	きよみ（岩本）			広島県呉市
石関　肇	文子（松代）			西条　徳島県石井町

婚姻（おしあわせに）

細北	惠比須	
喜久枝（藤本）	宇部市	
安永達徳	小東	
文子（井町）	萩市	
河村　享	山口市佐山	
七美子（砂村）	飛石	
田元寿美男	山口市	
光枝（伊藤）	旦東	
上田和則	宇部市西岐波	
ともこ（松重）	浜	
岡本正紀	大島郡東和町	
和子（岩井）	北祝	

死亡（ご冥福を祈ります）

氏名	月日	年令	部落
今井　チイ	11.2	73	築地
中山千代子	11.15	46	前山
岡部　スキ	10.30	79	砂三
藤野　スエ	11.30	83	砂三
藤井　和子	11.30	25	旦西

短歌

砂三　桜井　文子
年金は老いのしるしとぼやかつつ笑みをかくさず手にせし父は
その花にあこがれ春に植えし菊色あざやかに競い咲きたり　小西　徳本　喜一
週刊誌機冊か読みてねむらむに時計は一時を打ちしづまる　小東　松尾　君代
おさなくて父をとりせし吾なれば夫を父とも呼びて暮しぬ　浜　正司ウメノ

みんなの広場

あなたの文芸作品やご意見、お気づきのことなど未発表のものをお寄せください